

「非認知能力」をテーマにした親学習新教材の作成について

1. 親学習教材の構成

- 1テーマにつきA3 1枚 二つ折りで4ページ
- 以下の2つの項目で構成。
 - ①「エピソード」・「話し合い進め方のポイント」：子育ての一場面を記した「エピソード」。子育ての「正解」を示すのではなく、参加者が登場人物の行動などを問題として感じるように作成。これにより一人ひとりの参加者が自分の意見を持ち、主体的に学習に参加することを図る。
 - ②「参考資料」：話し合いの参考や、さらに学習を発展させていくためのヒントとして活用できるデータや参考資料、コラムなど

2. 予定



3. 新教材案の内容

自信をもつ	目標に向かってがんばる力
	幼稚園でおにぎりを作ってきた子ども（5歳）が、自信满满で家でも作る。うれしく思う反面、もっとやりたいと言い出すのではないかと不安を感じている母親の葛藤を描く教材。
がまんする	気持ちをコントロールする力
	ショッピングセンターでおもちゃを買ってほしいとねだる子ども（5歳）と困ってしまう母親。祖母の声かけによって子どもは気持ちを切り替えたものの、「がまん」をどう教えていいのか悩む母親の姿を描く教材。
かたりあう	人と関わる力
	登園の様子や毎晩同じ絵本を読んでとせがむ子ども（年少）の様子に、それでいいのかと悩む母親。父親のアドバイスで子どもの本当の気持ちを感じた母親の姿を描く教材。